【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第１区分
【発行日】平成28年5月19日(2016.5.19)

【公表番号】特表2015-522403(P2015-522403A)
【公表日】平成27年8月6日(2015.8.6)
【年通号数】公開・登録公報2015-050
【出願番号】特願2015-513238(P2015-513238)
【国際特許分類】
Ｂ０１Ｊ　31/28　　(2006.01)
Ｂ０１Ｊ　37/02　　(2006.01)
Ｂ０１Ｊ　37/08　　(2006.01)
Ｂ０１Ｊ　37/18　　(2006.01)
Ｃ０７Ｃ　 5/05　　(2006.01)
Ｃ０７Ｃ　11/08　　(2006.01)
Ｃ０７Ｂ　61/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ０１Ｊ　31/28　　Ｍ
Ｂ０１Ｊ　37/02　　１０１Ｚ
Ｂ０１Ｊ　37/08
Ｂ０１Ｊ　37/18
Ｃ０７Ｃ　 5/05
Ｃ０７Ｃ　11/08
Ｃ０７Ｂ　61/00　　３００

【手続補正書】
【提出日】平成28年3月22日(2016.3.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００５８】
クラスト状のパラジウムベースの触媒が得られることになる場合、例えば、コロイドの含浸方法、例えば、FR2922784において記載された方法が用いられ、この方法によると、水相中の酸化パラジウムまたは水酸化パラジウムのコロイド懸濁液の調製は、アルカリ水酸化物（好ましくは水酸化ナトリウム）およびアルカリ土類水酸化物からなる群から選択される少なくとも１種の水酸化物を含む水溶液１を少なくとも１種のパラジウム塩前駆体を含む水溶液２と混合することによって行われ、溶液２、次いで、溶液１が装置に注がれるか、または、溶液１および２が同時に装置に注がれ、その後に、前記コロイド懸濁液は、担体に含浸させるために用いられる。

【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００６７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００６７】
水蒸気分解方法等の炭化水素（本発明により調製された触媒を用いて選択的水素化方法に従って処理されることになる前記炭化水素供給原料の優先的な源）を転化させる方法は

、高温で操作され、多種多様の一価不飽和分子、例えば、プロピレン、直鎖ブテン、イソブテン、ペンテン、並びに１５個までの炭素原子を含有する一価不飽和分子を生じさせる。複数個の二重結合および／または少なくとも１個の三重結合を有する多価不飽和化合物も、並行して形成され、特に、アセチレン、プロパジエンおよびメチルアセチレン（またはプロピン）、１，２－ブタジエンおよび１，３－ブタジエン、ブチン、ビニルアセチレン、エチルアセチレン、ペンタジエン、並びに、水蒸気分解ガソリン中に存在する他の多価不飽和化合物、特に、スチレンおよびインデン化合物である。

【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００７３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００７３】
本発明による選択的水素化方法は、水素化されるべき前記供給原料中に存在する多価不飽和炭化水素の完全飽和を回避して対応するアルカンの形成を回避しながら、前記炭化水素を対応するアルケンに転化させることによってこの多価不飽和炭化水素を除去することを目的とする。
例えば、前記供給原料がＣ３留分である場合、本発明による選択的水素化方法は、プロパジエンおよびメチルアセチレンを選択的に水素化することを目的とする。Ｃ４留分の場合、目的は、ブタジエン、ビニルアセチレン（vinylacetylene：ＶＡＣ）およびブチンを除去することにある。Ｃ５留分の場合、目的は、ペンタジエンを除去することにある。前記供給原料が水蒸気分解ガソリンである場合、本発明による選択的水素化方法は、処理されるべき前記供給原料中に存在する前記多価不飽和炭化水素を、ジオレフィン化合物がモノオレフィンに部分的に水素化され、スチレンおよびインデン化合物が対応する芳香族化合物に部分的に水素化されるような方法で選択的に水素化することを目的とする。